授業科目　総合演習

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	スポ
吉田　重和	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現

【概要・一般目標：GIO】

総合演習は、人間尊重・人権尊重、地球環境や異文化理解など人類に共通するテーマについて少子・高齢化と福祉、家庭のあり方など我が国の社会全体に関わるテーマについて理解を深めるのみならず、これらの諸問題に係る内容を適切に指導することができる方法及び技術を修得することを目的としている。このために、上記課題に関して分析及び検討するだけでなく、生徒に指導できるようになるため、本学の特徴を生かしつつ、グループワークやプレゼンテーションを取り入れ、将来教壇に立つ学生の主体的参加により創り上げる演習を目指す。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．新しい教育パラダイムと「総合的な学習の時間」の意義について理解する。
2．ウェッビングやポートフォリオ等の「総合的な学習の時間」で用いられる教育技法の特徴と機能を理解し、生徒に指導できる。
3．グループにおいて今日的課題について協調的に追求することができる。
4．得られた情報とそこから言えることを批判的に検討し、論理的に論述しようとする。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	イントロダクション：新しい教育のパラダイムと教育改革	1	
2	教育課程における「総合的な学習の時間」の位置づけと意義	1	
3	「総合的な学習の時間」実践事例にみる教育方法・技術上の特徴（1）	2	
4	「総合的な学習の時間」実践事例にみる教育方法・技術上の特徴（2）	2	
5	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（1）	3	
6	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（2）	3	
7	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（3）	3	
8	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（4）	3	
9	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（5）	3	
10	環境・異文化理解・福祉・少子高齢化に関する課題追求（6）	3	
11	プレゼンテーションと相互評価・自己評価（1）	1,3	
12	プレゼンテーションと相互評価・自己評価（2）	1,3	
13	「総合的な学習の時間」における指導上の課題（1）	1,3	
14	「総合的な学習の時間」における指導上の課題（2）	1,3	
15	まとめ	4	

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	必要に応じてプリントを配布			
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

出席、課題への取り組み、プレゼンテーション、最終レポートから評価する。

【履修上の留意点】